

公益財団法人ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会 2020 年度 事業報告書 (2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

1 大会準備の概況

大会開催を翌年に控え、2020 年度は、新型コロナウイルスの世界的な感染状況により、2020 年 3 月に東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催が延期決定されて以降、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くことを前提に、本大会は 2021 年 5 月の開催を目指し準備を進めていた。

しかしながら、その後も続く厳しい感染状況を踏まえ、10 月にはスポーツ愛好家が世界中から集まり、生涯スポーツを楽しみ、地域住民との交流やスポーツとあわせて交流・ツーリズムを楽しむという大会の理念・趣旨を完全なかたちで実現できるよう、本大会の開催を 1 年延期することを決定した。この 1 年延期を前向きに捉え、これを大会成功に向けた意味のある期間にするという思いを持ち、3 月には新たに事業計画の見直しを行い、大会開催の諸準備を進めていく体制を整えた。

2 2020 年度の主な取組

(1) コロナ禍における実施内容の見直し

大会の 1 年延期が決定されるまでは、コロナ禍においても、競技運営、大会運営、交流・観光・宿泊・交通の各施策等において着実に準備を進めたが、決定以降は延期に伴う事業の進捗調整を行うとともに、追加費用の発生をできる限り抑えるため、実施内容の見直しに全力を注いだ。

(2) オンラインを活用した広報活動の展開

大会の周知・PR、誘客活動等においては、1 年を通じて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が大ききものであった。国内においては、節目イベントや各種スポーツイベントが中止となり、また海外においてもスポーツイベントの中止や世界各国の出入国禁止措置のため、リアルでの PR はできない状況となった。一方で、このコロナ禍においても、有効な手段であるオンラインを活用した広報活動を展開し、大会の知名度向上、機運醸成を図った。

① 「#家トレ」プロジェクトの提供

コロナ禍でも家で体を動かして健康の維持・促進につながるよう、今できるトレーニングやスポーツ、楽しみながらのアクティビティ等の動画を世界中の皆さんとシェアした。

② 「いまこそ、みんなで Do Sports プロジェクト(#Do スポ)」を開始

7 月からはオンラインで参加できるスポーツ大会で、「する」スポーツを楽しむ機会の創出を続け、参加者やスポーツ愛好家に大会の魅力を発信した。

③ web マガジン「ゴトスポ」の実施

競技開催市町の地域の魅力発信コンテンツを公募で選ばれた広報ボランティアの方々の目線で作り上げた。

(3) レガシー創出に向けた取組

レガシーの創出に向けた取組においては、日本リスク学会や一般社団法人大学スポーツコンソーシアム KANSAI (KCAA) と新たに連携協定を締結し、コロナ禍における大会運営への助言や大学生と連携した大会づくりに向けた協力体制を構築した。また、WMG 大会後のスポーツ大会としての継承、スポーツ文化ツーリズムの推進に向けた取組の継承、及び連携協定締結団体や関係団体と連携した取組の継承について、有識者の意見を伺い検討を進めた。

3 2021 年度に向けて

1 年延期とはなったが、IMGA、スポーツ庁はじめ関係省庁、日本スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協会、中央競技団体などの関係団体との密な連携、連携協定締結団体、協賛企業、大会アンバサダー等の本大会への協力・支援体制の強化など、大会成功に向けた一致団結する体制は構築されており、1 月には、開催日程(2022 年 5 月 13 日から 5 月 29 日)を公表、3 月には新しい競技別実施要項を発表し、大会 1 年前の 2021 年 5 月 13 日のエントリー再開に向け鋭意準備を進め、大会成功に向けて、再スタートを切ったところである。

【事業費】

1 競技運営

(1) 関係団体との連絡調整

延期版競技別実施要項の作成にあたり、関係省庁、日本スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協会、中央競技団体及び各府県政令市実行委員会等との協議・調整を実施

(2) 競技大会の運営に関する調査

全日本自転車競技選手権大会-トラック(パラサイクリング部門)、マスターズ陸上競技(京都大会)をはじめ、国内で開催された各種選手権大会ならびにマスターズ大会の調査視察を実施

(3) 中央競技団体等との調整会議の開催

- 実施日及び出席団体数
 - ・ 第1回 2020年9月18日(金) 41団体(中央競技団体) : Web会議
 - ・ 第2回 2020年10月26日(月) 34団体(中央競技団体) : Web会議
 - ・ 第3回 2020年11月13日(金) 41団体(中央競技団体) : Web会議
 - ・ 第4回 2020年12月15日(火) 48団体(障がい者スポーツ中央競技8団体を含む) : Web会議
- 内容
 - ・ 第1回
 - ① 開催方針について
 - ② 判断基準について
 - ③ 新型コロナウイルス感染症対策実施指針について
 - ④ 中央競技団体個別協議・府県競技団体の意見について
 - ⑤ 各競技会の実施について
 - ⑥ 競技別プログラムについて
 - ⑦ ドーピングコントロールについて
 - ・ 第2回
 - ① 本大会延期を想定した先行調査(NF・実行委員会)について
 - ② 開催方針案について
 - ③ 中央競技団体への依頼事項について
 - ・ 第3回
 - ① 国際マスターズゲームズ協会(IMGA)総会の結果について
 - ・ 第4回
 - ① 『WMG2021 関西』の会期について(案)
 - ② 2022年8月～10月の国内外スポーツ大会開催予想について

(4) 開催標準経費(追加競技分含む)

2016年9月、各競技の当時の競技日数・会場数等により、交付基準に基づく交付額を算定し、全体額を2020～2022年度の実行委員会交付申請額に分け、2020年度分の交付申請があった実行委員会に対し、経費を交付

(5) 競技の充実に要する経費

射撃競技に係る参加申込書類の様式作成のためのシステムを構築

- ワールドマスターズゲームズ 2021 関西射撃競技参加者の入出国及び鉄砲取扱い手続き業務
 - ・ 受託者 東武トップツアーズ(株)
 - ・ 契約期間 2020年12月1日から2022年5月31日

※IMGAから要請のあったテニス ITF シニアツアーの 카테고리(部門)の追加決定

(6) 競技要項等翻訳

国外及び国内の外国人に適切な競技会情報を提供し、競技会に安心して参加できるよう、競技別実施要項等の英語版を作成のうえ公表

(7) 競技運営にかかる大会開催支援アドバイザー

日本体育協会(現 日本スポーツ協会)での国体競技運営を始めとした様々な知見とネットワークを持った、川口三三夫氏に2018年度からアドバイザーに就任いただいております。銃の輸出入に係るプロポーザル選定委員や中央競技団体(クレ射撃等)との協議に関する助言を基に、競技団体等との更なる連携による競技会準備を実施

2 大会運営

(1) 大会エントリーシステムの構築及び運営補助業務

大会参加規約(大会参加資格、参加者区分、参加申込受付期間、参加料金、キャンセルポリシー、遵守事項等)の延期に伴う各種更新、エントリーシステムの大会参加申込受付業務の運営(アーリーエントリー2020年1月～、本エントリー同年2月～、延期に伴うシステム更新のための停止2021年3月～)、大会期間中の大会受付システムの構築

- エントリーシステム構築及び保守運営業務委託
 - ・受託者 富士通リース(株)
 - ・契約期間 2017年10月16日から2022年6月30日まで

(2) 大会案内業務(大会ヘルプデスク・コールセンター含む)

大会参加者の満足度向上を図るため、大会ヘルプデスク(メール問い合わせ)、コールセンター(電話問い合わせ)の運営、並びに参加者ガイドブックの作成業務、大会期間中の各会場での大会案内業務及びゲートウェイ案内所設置運営業務実施に向けた準備検討

- ワールドマスタースゲームズ2021 関西案内業務委託
 - ・受託者 (株)コングレ
 - ・契約期間 2020年4月1日から2021年3月31日まで

- ワールドマスタースゲームズ2021 関西参加者向けガイドブック作成業務
 - ・受託者 (株)コンベンションリンケージ
 - ・委託期間 2020年9月28日から2022年5月30日まで

(3) 大会総合本部、各ビレッジの運営

参加者がストレスなく、競技に参加し、交流を楽しみ、各種の情報案内を受けられるよう、大会の各種機能(大会総合本部、大会受付、大会案内、交流の場など)の配置の決定、また、それらの各機能を設置する会場(オープニングビレッジ、センタービレッジ、各府県域に設置されるマスタースビレッジなど)の運営体制や平時・有事広報報道対応、大会参加者への連絡等の情報発信を行うための相互の連絡体制の構築など円滑な大会運営に向けた準備検討

- ワールドマスタースゲームズ2021 関西大会運営業務(大会総合本部・各ビレッジ運営・大会受付)業務委託
 - ・受託者 (株)電通 関西支社
 - ・契約期間 2020年4月1日から2021年3月31日まで

(4) 大学連携事業

- インターカレッジ・コンペティション2020の開催
 - 産・学・官連携により、「WMG2021 関西のレガシーを最大限に創出し、関西を振興させる、大会終了後以降のアクションプラン」をテーマに、ゼミ単位のプレゼンテーションによるコンペティションを実施
 - ・開催日 2020年12月16日(水)
 - ・内容
 - ・プレゼンコンペ形式で予選・決勝を実施
 - ・最優秀賞・スポーツ庁長官賞
 - ・福山大学「Sports beauty project～美を関西から世界へ～」

(5) 広報・報道セクション

大会期間中に質の高い報道を数多く獲得するために、報道関係者に向けて円滑かつ迅速に大会情報の発信ができるよう必要な準備・計画・運営を行うための検討

2020年度は、本大会の報道対応に関わるスタッフ全員の共通理解を図り、広報報道セクション業務を円滑に進めるため、競技種目の多い兵庫県をモデルとして広報報道対応マニュアルを策定し、兵庫県実行委員会、開催市町と協議

- ワールドマスタースゲームズ2021 関西 広報報道セクション業務委託
 - ・受託者 (株)電通 関西支社
 - ・契約期間 2020年9月1日から2021年3月31日まで

(6) 参加者キット等

大会参加者向けのガイドブック作成業務を委託するため、プレゼンテーション審査を行い、業者選定を実施。受託業者との間で、ガイドブックの構成やデザインを検討

競技関連の情報、観光交流、式典等の情報の収集を始めたが、大会延期に伴い一時業務を中断

なお、大会参加者向けのTシャツやリュックなどのキット等は大会延期に伴い、2021年度に作成予定

- ワールドマスターズゲームズ 2021 関西参加者向けガイドブック作成業務
 - ・受託者 (株)コンベンションリンケージ
 - ・委託期間 2020年9月28日から2022年5月30日まで

(7) 関係団体との連絡調整

関係省庁、日本スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協会、東京2020組織委員会をはじめとする関係団体等に対し、大会運営への協力支援依頼や連絡調整を実施したほか、大会参加機運の醸成やスポーツを通じた教育・研究分野への貢献等レガシー創出を目的に、各関係団体と連携協力体制を構築

① 連携協定の締結

- 一般社団法人日本リスク学会との連携協定締結式
 - ・開催日 2020年6月1日(月)
 - ・連携内容 新型コロナウイルス感染症をはじめとしたあらゆるリスクへの対応 など
- 一般社団法人大学スポーツコンソーシアムKANSAIとの連携協定締結式
 - ・開催日 2020年6月19日(金)
 - ・連携内容 学生へのボランティア参加呼びかけ など

② 日本スポーツ協会とWMG2021 関西組織委員会定例会

- ・第7回 開催日 2020年7月30日(木)
議 題 ・「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」の開催に向けた準備状況
および課題について
・広報誘客について など
- ・第8回 開催日 2020年9月30日(水)
議 題 ・「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」の開催方針について

3 交流施策

(1) 交流事業関係準備

① 交流事業運営準備

大会延期決定前における交流事業の実施にかかる打合せを実施するとともに、延期決定後の交流事業の運営にかかる打合せを実施

- ◇延期前のオープニングビレッジ EXPO におけるイベントの検討
- ◇延期前の閉会式前イベントの実施に向けた検討
- ◇動画配信サイトの展開
 - ・受託者 (株)電通 関西支社
 - ・契約期間 2020年5月1日から2021年3月31日まで

② フラワーリレー映像撮影及び花材調達 兵庫県・大阪府・京都市における撮影を実施

③ VIP対応

IMG A関係者、スポンサー等の閉会式等に招待する関係者に対して適切な対応を行う為に、受付方法や動線等について検討を実施していたが、大会の1年延期に伴い、一旦中断

(2) 関係団体との連絡調整

各実行委員会と個別にマスターズビレッジ及び周辺においての交流の場についての考え方の説明やフラワーリレー撮影への立ち合い並びに現況についての協議を実施

4 ボランティア運営

(1) ボランティア運営・研修業務

各府県政令市実行委員会の担当会場を含めた全ての会場におけるボランティアの活動内容、人数などの配置計画案の作成、また、ボランティア募集要項の修訂、団体ボランティア等募集開始、ボランティアデスク運用、ボランティア研修等実施に向けた準備検討、オンライン研修教材の制作

- ワールドマスターズゲームズ 2021 関西ボランティア運営業務委託
 - ・受託者 ㈱電通 関西支社
 - ・契約期間 2018年12月19日から2022年6月30日まで

(2) 募集広報・関係団体との連携

募集広報物として、パンフレット 85,000 枚、ポスター5,000 枚を作成し、各府県政令市実行委員会や関係各所に配付・掲示するとともに、各地のスポーツ大会、ボランティア説明会での募集案内やボランティア募集サイトへの掲載等を実施、延期に伴うポスター等の修正用テープの作成と各印刷物の修正

また、連携団体への働き掛けを実施

- ・オリパラボランティアマイページでのPR
- ・JICA関西メールマガジン掲載依頼、海外協力隊家族連絡会でのPR
- ・全国外大連合との語学ボランティア募集に向けた協議
- ・日本障がい者スポーツ協会への協力依頼
- ・全国体育大学連合への協力依頼
- ・大学スポーツコンソーシアムKANSAI(KCAA)への協力依頼 など

【参考：ボランティア募集状況】

申込受付人数(実人数ベース：2021年3月末現在)

必要見込総人数(※)	申込受付人数
20,095 人	2,041 人(うちエントリーシステム受付 771 人)

※延人員を3で除した人数

5 安全対策・危機管理

(1) 危機管理対策

全ての会場(開閉会式会場、各ビレッジ会場、各競技会場等)において想定されるリスクを洗い出し、分析・整理し、それらの全体的な対応方針を「安全対策・危機対応にかかる全体指針」として取りまとめ、各府県政令市実行委員会と共有、また、より詳細な各会場における運営マニュアル作成のための基準書の作成(実行委員会へのヒアリングの実施)、各会場のリスクブックの取りまとめ、会場内や医療機関での外国語対応方策検討、新型コロナウイルス対策のための指針の策定及び更新を実施

- リスクマネジメントアドバイザー業務委託
 - ・受託者 マーシュジャパン㈱・SOMPO リスクマネジメント㈱共同企業体
 - ・契約期間 2018年12月7日から2022年9月30日まで

(2) 大会保険等

大会運営準備に係るリスクに備えて一般賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバーリスク保険へ組織委員会として加入(一部、IMG Aや各府県政令市実行委員会等もカバー)し、今後加入すべきと想定される大会中止保険、傷害保険(競技出場者、競技関係者、海外VIPを対象)、ボランティア保険への加入について準備検討

(3) 危機管理にかかる大会開催支援アドバイザー

安心安全な大会の開催に向けて、外部の有識者に大会開催支援アドバイザーに就任いただき、リスクマネジメント、サイバーセキュリティ、外国人向けの医療救護体制の構築等専門的知見から助言を受ける。

○ 大会開催支援アドバイザー

- ・久保 英也氏（組織委員会参与、日本リスク学会 前会長）
- ・猪俣 敦夫氏（大阪大学情報セキュリティ本部情報セキュリティ学科教授）
- ・南谷かおり氏（りんくう総合医療センター健康管理センター長兼国際診療科部長）

(4) システム障害・サイバー事故対応

事務局内のさらなるセキュリティ強化を図り、ネットワーク障害及びサイバー事故等に対応するため、24時間365日体制でのネットワーク監視やPC操作ログを収集するシステムを導入するとともに、不正アクセスやウィルス感染があった際の原因究明や初動対応のサポート体制を構築

6 観光施策

(1) 観光事業の基盤となる仕組みづくり

① 大会専用観光サイトの構築

大会参加者等が、どの地域を訪れても、その地域の魅力に触れることができるよう、開催地の体験プログラムを一元的にとりまとめ、検索・予約・決済までワンストップで対応できるサイトを構築したが、大会延期に伴い、2020年10月末にサイトを一時閉鎖。延期後の大会日程等を考慮した対応を行うとともに、2021年5月13日の再オープンに向けた調整を行った。

サイトに掲載するWMG2021関西特別体験プランについては、開催地毎に3件の体験プログラムを造成することとしており、2021年3月31日時点で95件の体験プログラムを造成済

② 着地型観光商品造成支援

観光サイトのコンテンツとして、各開催地でしか味わえないWMGオリジナルの体験プログラムを各府県政令市が造成することとし、国内・国外参加者に魅力的で訴求性のある体験プログラムとして販売できるよう専門的支援を実施

(2) 観光情報発信

参加者が開催地の観光情報をより深くコンパクトに入手できる仕組みを構築するため、各府県政令市の観光情報を集約して大会ホームページにて発信

7 宿泊施策

(1) 公式宿泊予約サイトの構築・運用

2020年2月から宿泊予約サイトでパートナーホテルの宿泊予約を開始。2020年5月からは、同サイトで参加競技や観光地から検索が可能な宿泊施設比較サイト（トラベルコ）と連携して運用を開始。2020年10月末に大会延期が決定したため、11月に宿泊予約サイトを一時閉鎖

(2) WMG宿泊センターによる宿泊施設関係団体等との調整

参加エントリー受付状況に応じて、パートナーホテルの過不足調整を実施。また、メジャーパートナー系列のホテル掲載に向け、関係者と協議のうえ、掲載内容の調整や客室仕入れを実施。大会延期決定後は、パートナーホテルのキャンセル対応や確保した宿泊施設の返室対応を実施。延期後の大会日程の決定に伴い、2021年5月13日の公式宿泊予約サイトの再オープンに向けて、宿泊施設の確保などの調整を開始

8 交通施策

(1) 参加者がストレスなく移動(競技参加)できる交通体制の整備

① 広域シャトルバス

バスの調達、運行ルート及び運行スケジュールの作成、運営マニュアルの作成に着手し、また大会の延期に伴い、調達したバスの返却等の対応を実施

② 域内シャトルバスの調整

開催エリアにて利用されるシャトルバスの意見集約及び調達を行い、また大会の延期に伴い、調達したバスの返却等の対応を実施

(2) 交通インフォメーションの修正

会場の変更等に伴う修正について、修正があり次第、随時対応を実施

(3) トータルモビリティサービス「モビ ONE」の制作

参加者の利便性向上、スポーツツーリズム促進のための総合的なデータを活用した専用アプリおよびWEBサイトを製作

- ・サイト構築：2020.8～11
- ・サイト運用開始：2020.12～(デモ運用中)

【機能】

- ・経路検索(大会関連施設情報及び観光スポット情報約400か所のデータを含む)
- ・行程プラン作成
- ・関西の観光モデルコース案内及び観光スポット情報検索
- ・競技会場周辺の飲食店の検索、紹介
- ・大会専用交通パスの活用ナビゲート
- ・徳島シャトルバスの予約
- ・スタンプラリー
- ・大会期間中の人的流動調査
- ・PUSH通信

9 大会の機運醸成

(1) 広報媒体制作(ポスター、チラシ)

大会の1年延期に伴い、既存のPRチラシやポスターを有効活用のため、延期修正用のマスキングシールを作成・貼付のうえ、競技団体や行政組織、企業等が実施するイベントや各種競技大会において、直接参加者に対し配付し参加への働きかけをするとともに、各団体が所有する施設等での配架及び掲出

そのほか、企業に対し従業員への大会周知について協力依頼を実施

○ PRチラシ配付数

- ・日本語チラシ 91,635部
- ・外国語チラシ(4言語)
 - 英語 12,904部 中国語(繁体) 4,676部
 - 中国語(簡体) 86部 韓国語 482部
- ・多言語チラシ(6言語)
 - 英語 104部 ロシア語 100部
 - ドイツ語 1部 フランス語 160部
 - スペイン語 2部 タイ語 500部

○ ポスター掲出数

- ・国内用 10,656枚
- ・海外用 欧米向け 605枚 アジア向け 457枚

(2) 広報グッズ(ノベルティ)制作

- ・大会名称・ロゴ、マスコット等をデザインしたPRグッズ(ボールペン、ピンバッジ、マフラータオル、ハンドタオル、スカーフ等)を制作し、広報イベントや会議等において活用
- ・大会延期に伴い、横断幕の日程部分に貼付するマスキングシートを制作し、既存物の有効活用を実施

(3) 各種イベント等でのPR出展(着ぐるみスタッフ派遣費含む)

- ・大会の知名度向上及び機運醸成のため、各競技団体、府県政令市実行委員会、協賛企業等と協同し、全国各地のスポーツイベント会場において大会PRブースを出展
一部のイベントについては、新型コロナウイルスの感染拡大による無観客開催への変更等に伴い、ブース出展が困難になったため、出展の代わりとしてイベント会場等において主催者から参加者及び関係者へチラシやグッズを配布
- ・大会マスコット着ぐるみも有効活用しながら、大会エントリー数の底上げを図るとともに、スポーツの楽しさ、健康増進の大切さを発信し、大会出場者や競技者層だけでなく、未経験者を含めた地域全体の生涯スポーツへの関心を高め、PRサポーターやボランティア等大会への幅広い参加につなげられるよう取組を実施

<出展等実績>

- ・霧ヶ峰ミドルオリエンテーリング 2020 大会、霧ヶ峰ロゲイニング 2020 大会(長野県)
- ・イベントツールウェストジャパン 2020(オンライン開催)
- ・2020 年度(第 30 回)日本シニアオープンゴルフ選手権の地区予選大会(埼玉県、茨城県、愛知県)
- ・第 12 回関西ホテル・レストラン・ショー(大阪市)
- ・第 2 回音水湖カップカヌーポロ大会<リハーサル大会>(兵庫県)
- ・東京 2020 応援プログラム OSAKA スポーツパーク 2020(大阪城トライアスロン)(大阪市)
- ・SPORT EC WEST 2020(大阪市)
- ・第 11 回東日本シニアボウリング選手権大会(静岡県)
- ・第 11 回西日本シニアボウリング選手権大会(滋賀県)
- ・第 10 回 Beach Volley in 南あわじ<リハーサル大会>(兵庫県)
- ・スポーツ 6 大陸 Do Sports Fes2020(大阪市)
- ・UTSUBO テニスフェス(大阪市)
- ・歩こう!学ぼう!まち探検クイズラリー in けいはんな(京都府)
- ・WMG/WMOC2021 関西プレイイベント 3 日間大会(オリエンテーリング)(兵庫県)
- ・2020 年度兵庫県選手権水泳競技大会水球競技<リハーサル大会>(兵庫県)
- ・スポーツ体験てんしば #ちょこエク(大阪市)
- ・ワールドマスターズゲームズ 2021 関西 テニス競技<リハーサル大会>(兵庫県)
- ・東大阪市立ウィルチェアスポーツコート竣工記念式典(大阪市)
- ・令和 2 年度兵庫県社会人卓球選手権大会(兼 第 15 回ひょうご生涯スポーツ大会)<リハーサル大会>(兵庫県)
- ・JFA 第 19 回全日本 0-50 サッカー大会(静岡県)
- ・第 53 回全日本シニアボウリング選手権大会(愛知県)
- ・第 28 回ワン・ワールド・フェスティバル オンラインウィーク(オンライン開催)
- ・京都府障害者スポーツレクリエーション「オンライン運動会」(オンライン開催)
- ・JBC 会長杯第 36 回全日本年齢別ボウリング選手権大会(福島県)
- ・おんらいん京都マラソン 2021(京都市)
- ・第 14 回国際連合犯罪防止刑事司法会議(京都 kongress)(京都市)
- ・マスターズ陸上競技 京都大会<リハーサル大会>(京都市)
- ・令和 2 年度阪本章史杯~GANCUP~(自転車/BMX)(大阪府)
- ・なにわ淀川マラソン 2021(大阪市)
- ・2021 カヌースプリント海外派遣選手選考会、2021 カヌースプリントジュニア海外派遣選手選考会、2021 パラカヌー海外派遣選手選考会(香川県)

※ 各競技会場にポスター掲出、パンフレット配架も実施

※ 上記のうち、チラシ・ノベルティ配付、ポスター掲出のみ実施したイベントもあり

(4) 節目イベント・WMG2021 魅力発信イベントの開催

大会の節目の時期(大会1年前)に大会の知名度向上・機運醸成、参加者獲得や大会の魅力を発信するためイベントの開催を計画していたが、コロナ感染拡大防止の観点から中止

(5) 大会プロパティ活用促進

① ライセンス事務局の運営

大会ロゴマークや各種スフラピクト等の大会プロパティの管理・運用を実施

② オフィシャルグッズの販売

オンラインショップを2020年4月に開設、大会HPにバナーを設置し販売促進を実施

(6) 全国への情報発信

大会1年前節目イベント、決起大会の開催と連動して、全国への情報発信事業を計画していたが、両イベントを中止したため、事業を中止

(7) ホームページ等情報発信事業

参加者への適切な情報発信や機運醸成を目的とし、ホームページ、SNSを活用した大会情報の発信や、参加型企画の展開、関西のスポーツツーリズムを発信するコンテンツの展開

・「#家トレ」プロジェクトの展開

新型コロナウイルスの感染拡大のため、世界の多くの方が外出自粛となっている状況の中でも家で体を動かして健康の維持・促進につながるように、いまできるトレーニングやスポーツ、楽しみながらのアクティビティ等の動画を、世界中の皆さんとシェアする「#家トレ」プロジェクトを実施。

2020年4月21日～6月30日の間に特定のハッシュタグでSNSに投稿された動画を大会HPへ掲載。本大会アンバサダーや国内外のマスターズアスリートを中心に約400件もの動画が集まり、TV・新聞・webなど多数のメディアで取り上げられた。

・「#Do スポ」プロジェクトの展開

新型コロナウイルスの影響により、多くのスポーツイベントが中止となる中で、スマートフォンアプリなどを活用した、オンラインで参加できるスポーツ大会「Do Sports プロジェクト (#Do スポ)」を開始した。

「一人でするスポーツが、みんなと楽しめる最高の大会になる」をコンセプトに、一人でスポーツをしながら参加者とオンラインで順位を競うスポーツ大会として2020年度に3回の大会を実施し、新聞、WEBメディアなど複数社で掲載された。

【第1回 オンライン“ラン&ライド”】

エントリー者数 1,144名 (ラン: 1,124名 ライド(自転車): 20名)

【第2回 オンライン“陸上記録会”】

エントリー者数 503名

【第3回 オンライン“全国水泳記録会”】

エントリー者数 715名

・関西のスポーツツーリズムを発信するwebマガジン「ゴトスポ」の展開

開催市町の地域の魅力を発信し、全国・世界からやってくる人たちに関西のスポーツ文化・熱量を知っていただき、興味を持っていただくことを目的としたwebマガジン。

「ゴトスポ」に掲載する記事は、公募で選ばれた、WMG開催府県市在住の広報ボランティアが取材・記事作成。日/英で展開

(8) ポータルサイトの運用

ポータルサイト「Team Do Sports Portal(TDSP)」では、すべてのスポーツ愛好者の交流の場としてのプラットフォームとして運営している。デザインを一新し、よりサイトへの誘引を図り「するスポーツ」への関心・機運を高め、大会参加への誘導を展開

(9) 大会アンバサダーの運用

既に大会応援大使として協力いただいている武井 壮氏を含む 53 名の元アスリートや著名人が大会アンバサダーに就任(2021年3月末現在)

組織委員会や各実行委員会主催のイベントにも参加し、メディア露出に寄与したほか、大会公式ホームページにてプロフィール、コメント等を掲載し、大会知名度向上の推進、大会参加者の確保にも寄与

(10) 広報戦略にかかる大会開催支援アドバイザー

効果的な広報活動を実施するため、広報戦略分野における外部の有識者5名に大会開催支援アドバイザーに就任いただき、WEBマガジン「ゴトスポ」の運営、メディアリレーション活動、ホームページアクセシビリティ等に関する助言を生かし活動

○ 広報戦略アドバイザー

- ・湯川 カナ 氏 (兵庫県広報官)
- ・有田 佳浩 氏 (兵庫県編集デザインディレクター)
- ・大高 三保子 氏 (KAIBA株 代表取締役)
- ・板垣 宏明 氏 (NPO 法人アイ・コラボレーション神戸 理事長)
- ・小林 知 亜 季 氏 (一般社団法人リベルタ学舎編集部)

(11) 各種会議用バックボード作成

各種イベントや関西広域連合委員会など、大会関係者やメディアへの露出が期待できる場にバックボードを掲出

(12) 大会マスコット着ぐるみの活用

各種イベント等での活用

(13) 表彰用メダルデザイン企画

競技参加者にとって最高の荣誉である公式競技メダルデザインの一般公募を実施し、83 作品の中から、有識者などによる審査を実施し、最優秀作品を決定。メダルデザインの意匠登録を出願した。

(14) 協賛セールス推進事業

関西経済界企業を中心に積極的にセールス活動を行うとともに、メディアパートナーについては、ソーシャルメディアに対応したプラットフォームや大会開催地域の地元メディア各社との協業体制の構築を図り協賛社の拡大を展開

また、各府県政令市実行委員会スポンサー獲得に対してのサポートも実施

○ 第1期協賛 (2014年4月1日～2017年12月31日) 計24社

- ・メディアパートナー 15社
- ・パートナー 1社
- ・サポーター 8社

○ 第2期協賛 (2018年1月～) 計53社(2021年4月1日現在)

- ・メジャーパートナー 6社
- ・パートナー 3社
- ・サポーター 19社
- ・メディアパートナー 25社

(15) レガシー創出委員会運営

「選択と集中」により組織委員会が継承すべき事業および関係団体と連携することにより継承できる事業の整理を行い、今後取り組むべき事業について議論するため委員会を実施

○ 第8回レガシー創出委員会

- ・開催日 2020年10月7日(水)
- ・議題 ・ワールドマスターズゲームズ2021 関西の開催方針について
- ・リーディングプロジェクト・継承事業について

○ 第9回レガシー創出委員会

- ・開催日 2021年3月26日(金)
- ・議題 ・大会の1年延期に伴う事業計画の見直し案について

10 知名度向上(広報PR等)

(1) メディアリレーション活動(在阪・首都圏メディア)

本大会の報道露出獲得のため、在阪メディアが加盟する関西プレスクラブや共同通信社きさらぎ会を通じたメディアとの関係構築や、大会の延期、延期後の日程など重要な情報発信について、記者会見を開催することで報道露出の最大化を図った。また、メディアとのタイアップによるスポーツツーリズムをテーマとした特集企画を実施した。

- 露出実績 427件(新聞376件、テレビ21件、WEB27件、その他3件)
- 記者会見・記者レクの実施
 - ・2020年10月28日 ワールドマスターズゲームズ2021関西の延期について
 - ・2020年11月5日 IMGA総会の結果について
 - ・2021年1月12日 ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催日程の決定について
 - ・2021年3月29日 ワールドマスターズゲームズ2021関西 大会実施計画について
- メディアタイアップ実績
 - ・HOTERES(週刊ホテルレストラン)での特集
本大会協賛社や大会アンバサダーなど、スポーツ振興、スポーツツーリズムに精通する識者のインタビューなどを通じ、本大会の特集記事を16ページにわたって掲載

(2) メディアパートナーPR等事業

メディアパートナーへの協賛契約に基づき広告出稿を行い、デジタルメディアに広告等を出稿するとともに、関西国際空港に壁面広告を掲載し、大会知名度の向上・大会機運醸成、参加者獲得等を推進

- 実行委員会関係メディアでのPR
各府県政令市の媒体にてPRを実施

(3) 知名度調査

参加者目標達成に向けた効果的な広報活動に活用するため、広報誘客指標の一つとして大会知名度調査を実施

- ・委託先 楽天インサイト㈱
- ・内容 2021年3月実施結果 全国：12.7% 開催地：25.1%
(調査期間) 2021年3月2日～3月5日
(調査手法) インターネット調査
(調査対象) 全国30歳～79歳の一般男女、4700サンプル

(4) 広報ツールの作成・改修

関西国際空港での壁面広告のデザイン作成、大会期間1年延期に伴い各種広告物やデジタルサイネージの改修を実施

11 参加者獲得 ※国内・海外

(1) 広告掲出(大会プログラム等)

- ・競技大会等の大会プログラムへの広告掲出(国内) 3件
- ・会報誌やガイドブックへの広告掲出(国内) 6件
- ・主要駅など屋外各所への広告掲出 3件
- ・海外向けのガイドブック等への広告掲出 3件

(2) 海外類似大会でのPR・誘客事業

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、世界中のスポーツイベントが中止のため、海外での類似大会でのPRや誘客活動は未実施

(3) 重点国・地域へのPR・誘客事業

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大やそれに伴う世界各国の出入国禁止措置により、組織委員会としての渡航を伴うPR・誘客活動は中止したが、在外関係機関や海外の関係団体との連携や協力により、SNS等を通じた大会の魅力や情報の発信

- オーストラリア・ニュージーランド
 - ・全国自治体国際化協会(クレア)シドニー事務所によるF Bでの大会情報の発信およびホームページへの掲載
 - ・機関誌「自治体国際化フォーラム」への大会情報の掲載・発信
 - ・在シドニー日本国総領事館刊行の雑誌「Japan Reports」への掲載による大会情報の発信
 - ・近畿運輸局 2020 年度V J 事業による訪日マーケット拡大を目的とした大会の魅力や情報の発信事業の実施
 - ・豪州最大のオンデマンドTVモバイル配信サービス「Foxtel」および「Kayo」でのTV動画広告配信
 - ・ニュージーランド最大手メディア「NZ Herald」への新聞広告掲載
 - ・サイクリングマーケットでNo1のリーディングマガジン「BicyclingAustralia」への特集編集記事掲載および広告開催(2回)

- 韓国
 - ・全国自治体国際化協会(クレア)ソウル事務所によるSNSを活用した情報発信およびホームページへの掲載
 - ・アジアパシフィックマスターズゲームズ(2023年6月/韓国)組織委員会との相互の広報協力を目的とした連携にむけた協議

- 中国
 - ・全国自治体国際化協会(クレア)北京事務所によるホームページでの大会情報の掲載・発信
 - ・全国自治体国際化協会(クレア)北京事務所による天津の伊勢丹百貨店でのイベントにおける広報活動支援
 - ・大阪市上海事務所のホームページで大会情報の掲載・発信

- 台湾
 - ・次回ワールドマスターズゲームズ開催都市決定に伴う連携に関する協議申入れ
 - ・台湾体育署主催「Fun Sports in Taiwan」国際フォーラムでのワールドマスターズゲームズ2021関西のPRプレゼンテーションを実施(オンライン)
 - ・台湾のスポーツシーンにおいて最も影響力のあるSNSメディア「運動筆記」におけるワールドマスターズゲームズ2021関西の広報記事掲載

[その他]

- インド
 - ・インドマスターズゲームズ協会ならびにKHELOマスターズゲームズ連盟に対する大会情報の発信および団体エントリーに向けた協議実施
- シンガポール
 - ・全国自治体国際化協会(クレア)シンガポール事務所によるSNSでの情報発信およびホームページへの掲載
- モンゴル
 - ・モンゴル陸上連盟に対する大会情報の発信および団体エントリーを活用した参加要請
- ヨーロッパ
 - ・英国陸軍に対する大会情報の発信および団体エントリーを活用した参加要請
 - ・全国自治体国際化協会(クレア)パリ事務所の機関誌「La lettre de CLAIR」への大会情報の掲載・発信

(4) 関係機関を活用した海外PR事業

- ・関西領事団事務局を通じ、関西内の在日海外公館等にWMG周知を依頼
- ・関西観光本部が発行するインバウンド向け関西観光ガイドブック及びKansai One Passガイドに広告出稿

(5) デジタルメディアを活用した海外PR事業

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により人と接する機会を用いた誘客活動の実施が困難になったため、広報活動の主軸をデジタルメディアを活用した非接触活動に転換
国・地域ごとの人気スポーツや関心が高いコンテンツの配信を通年で実施

<配信媒体>

- ・ WMG2021 関西組織委員会公式 Facebook、Instagram、YouTube(日本語・英語)
- ・ IMGa の SNS、HP(英語)
- ・ WMG2021 関西組織委員会公式微博アカウント(中文簡体字)※一部コンテンツのみ
- ・ 台湾「運動筆記」
- ・ オーストラリア「Bicycling Australia」
- ・ カナダ「Sports Masters」

<配信内容>

- ・ 過去大会参加者、参加予定者へインタビューを行い、SNS で公開
- ・ ゴトスポ(英名: Sports Locally)コンテンツ紹介
- ・ YouTube 動画を含む、開催地・競技会場の詳細情報を SNS や HP で紹介。
※訪日したときのイメージをより具体的に想像できるようなもの。
- ・ 大会の楽しい雰囲気伝える 15 秒動画・30 秒動画を SNS、HP、オーストラリアのケーブル TV などで紹介
- ・ Bicycling Australia: 大会概要と過去大会参加者インタビューを紙版及びオンライン版に掲載。加えて、Bicycling Australia の SNS でもその記事の紹介を行い、ニュースレターにも大会バナーを掲載。(2021 年 1-2 月号、3-4 月号)
- ・ Facebook のスポーツコミュニティにアプローチし、組織委との関係作り及び大会 PR
- ・ 競技別実施要項発表、エントリー開始などのニュース配信

(6) 過去大会参加者等によるネットワークづくり

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2020 年度の意見交換会の実施は見送り
- ・ WMG2021 関西の延期決定や開催期間の決定といった重要な情報については、過去大会参加者向けメールマガジンを通じて共有

(7) TSUNAGU 推進事業

- 隠岐の島バレーボールクリニック
 - ・ 開催日 2020 年 10 月 30 日(金)～31 日(土)
 - ・ 開催地 島根県隠岐の島町
 - ・ 参加者 約 50 名
 - ・ 参加アスリート 柳本 晶一 氏(アテネ・北京オリンピック全日本女子バレーチーム監督)
- 守山市小中学校トルコ交流推進プロジェクト
 - ・ 開催日 2020 年 11 月 19 日(木)～20 日(金)
 - ・ 開催地 滋賀県守山市
 - ・ 参加者 約 100 名
 - ・ 参加アスリート 根木 慎志 氏(シドニーパラリンピック車椅子バスケットボール日本代表主将)
- 陸上トップアスリート交流大会
 - ・ 開催日 2020 年 11 月 21 日(土)
 - ・ 開催地 奈良県橿原市
 - ・ 参加者 約 100 名
 - ・ 参加アスリート 朝原 宣治 氏(北京オリンピック男子陸上 4×100m リレー銀メダル)
江里口 匡史 氏(ロンドンオリンピック日本代表)
- 喜界島親子クリニック
 - ・ 開催日 2020 年 12 月 19 日(土)
 - ・ 開催地 鹿児島県喜界町
 - ・ 参加者 約 50 名
 - ・ 参加アスリート 柳本 晶一 氏

12 組織委員会運営

(1) 組織委員会運営事業

① 幹事会

○ 第46回

- ・開催日 2020年4月23日(木)(書面開催)
- ・議題 ・本大会を予定通り開催することにより想定される影響について
・寄付金の取組について など

○ 第47回

- ・開催日 2020年5月22日(金)(書面開催)
- ・議題 ・「WMG2021 関西」の開催に向けての基本的な考え方について
・令和元年度事業報告及び収支決算(案)について など

○ 第48回

- ・開催日 2020年6月26日(金)(書面開催)
- ・議題 ・新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた新しい競技運営の在り方について
・競技別プログラムの作成について など

○ 第49回

- ・開催日 2020年8月25日(火)(書面開催)
- ・議題 ・令和3年度開催府県政令市の負担金について
・公式競技メダルについて など

○ 第50回

- ・開催日 2021年1月27日(水)
- ・議題 ・ワールドマスターズゲームズ2021 関西の会期決定について
・全国自治宝くじの発売について など

○ 第51回

- ・開催日 2021年3月10日(水)
- ・議題 ・全体事業計画及び2021年度事業計画・予算について
・競技別実施要項の更新およびエントリーの再開時期について など

② 連絡協議会

○ 令和2年度第一回

- ・開催日 2020年7月16日(木)
- ・議題 ・東京オリパラ組織委員会・スポーツ庁との打合せ結果について
・開催方針の検討(骨子)について など

○ 令和2年度第二回

- ・開催日 2020年8月31日(月)
- ・議題 ・ワールドマスターズゲームズ2021 関西の開催方針について
・判断基準について など

○ 令和2年度第三回

- ・開催日 2020年10月1日(木)
- ・議題 ・WMG2021 関西の開催・延期判断基準に基づく客観的判断結果及び提言
・開催方針案 など

○ 令和2年度第四回

- ・開催日 2020年10月26日(月)
- ・議題 ・本大会延期を想定した先行調査(NF・実行委員会)について
・開催方針案 など

- 令和2年度第五回
 - ・開催日 2020年11月12日(木)
 - ・議題 ・IMGA総会の結果について など
- 令和2年度第六回
 - ・開催日 2020年12月10日(木)
 - ・議題 ・「WMG2021関西」の会期について(案)
 - ・2022年8月～10月の国内外スポーツ大会開催予想について など

(2) 常任委員会開催事業

- 第9回常任委員会
 - ・開催日 2020年10月8日(木)
 - ・出席委員 49名
 - ・議題 ・ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催方針について
- 第10回常任委員会
 - ・開催日 2021年3月16日(火)
 - ・出席委員 49名
 - ・議題 ・全体事業計画及び2021年度事業計画・予算について
 - ・競技別実施要項の更新およびエントリーの再開時期について
 - ・公式競技メダルデザインの決定について
 - ・オープン競技の追加承認について

13 IMG A連絡調整

- 開催地契約に基づく年度分開催地負担金の支払
 - ・支払日 2021年1月20日(水)
 - ・支払金額 93,750,000円(75万ユーロ)
- IMG A総会(Web開催)
 - IMG A総会の場で大会の延期決定について承認を得た。
 - ・開催日 2020年11月4日(水)
 - ・内容 ・延期後の日程案
 - ・参加者の取扱い など

【管理費】

14 事務局運営

(1) 事務局運営事業

業務の増加・細分化に伴う人員増などにより、事務局体制を拡充し、公益法人として適切な会計事務を執行

(2) 理事会等開催事業

- ① 理事会
 - 第1回(書面決議)
 - ・決議があったものとみなす日 2020年5月29日(金)
 - ・決議があったものとみなす事項 ・2019年度事業報告及び収支決算(案)について
 - ・評議員会の開催について
 - 第2回(書面決議)
 - ・決議があったものとみなす日 2020年6月30日(火)
 - ・決議があったものとみなす事項 ・代表理事の選任(案)について

- 第3回(書面決議)
 - ・決議があったものとみなす日 2020年8月21日(金)
 - ・決議があったものとみなす事項 ・評議員会の開催について

- 第4回
 - ・日 時 2020年10月28日(水)
 - ・場 所 NCB会館
 - ・決議事項 ・開催方針案について

- 第5回(書面決議)
 - ・決議があったものとみなす日 2020年12月10日(木)
 - ・決議があったものとみなす事項 ・評議員会の開催について

- 第6回(書面決議)
 - ・決議があったものとみなす日 2020年12月18日(金)
 - ・決議があったものとみなす事項 ・会長・代表理事の選任(案)について

- 第7回
 - ・日 時 2021年3月29日(月)
 - ・場 所 NCB会館
 - ・決議事項 ・全体事業計画及び2021年度事業計画・予算について
 - ・競技別実施要項の更新およびエントリーの再開時期について
 - ・公式競技メダルデザインの決定について
 - ・オープン競技の追加承認について
 - ・評議員会の開催について

② 評議員会

- 第1回(書面決議)
 - ・決議があったものとみなす日 2020年6月15日(月)
 - ・決議があったものとみなす事項 ・貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認について
 - ・組織委員会の評議員選任(案)について
 - ・組織委員会の理事選任(案)について
 - ・組織委員会の監事選任(案)について

- 第2回(書面決議)
 - ・決議があったものとみなす日 2020年9月15日(火)
 - ・決議があったものとみなす事項 ・組織委員会の理事選任(案)について

- 第3回(書面決議)
 - ・決議があったものとみなす日 2020年12月16日(水)
 - ・決議があったものとみなす事項 ・組織委員会の理事選任について

附記

事業における重要な事項は、以上の2020年度事業報告書に記載されており、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は特に無いため、当該年度の附属明細書は作成しない。